

平成 25 年度第 2 回白井市立図書館協議会（概要）

1. 開催日時 平成 25 年 7 月 10 日（木）15：00～17：20
2. 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 2
3. 出席者 委員 田中委員、吉井委員、吉田委員、進藤委員、高花委員
事務局 黒澤文化課長 黒澤図書館長、鎌田主査、内山主査
欠席者 宮田委員、中澤委員
4. 傍聴者 なし
5. 会長・副会長選出 吉井会長 高花副会長
6. 報 告
 - (1) 図書館協議会の役割
 - (2) 図書館概要
 - ①平成 24 年度主要事業及び利用状況結果
 - ②平成 24 年度図書館資料購入実績
 - ③平成 24 年度図書館資料除籍実績
 - ④平成 25 年度主要事業
 - ⑤平成 25 年度図書館費
 - ⑥平成 25 年度図書館資料購入
 - (3) 図書館運営の課題（事業仕分けの指摘から）
 - ①サービスの方向性
 - ②夜間対応
 - ③祝日開館
 - (4) 平成 25 年度蔵書点検結果及び対策について
7. 議 題
 - (1) 利用者アンケートについて
 - (2) 図書館電算システムの更新について
8. 配布資料
 1. 年報しろいの図書館 平成 25 年度
 2. 図書館協議会の役割
 3. 年齢別貸出統計 平成 21 年・平成 24 年比較
 4. 平成 24 年度事業仕分け判定結果に対する市の見直しについて
 5. 平成 24 年度図書館時間別入館者数
 6. 年度別蔵書点検結果・平成 25 年度不明一覧
 7. 平成 25 年度「白井市立図書館利用者アンケート」実施要領（案）
 8. 白井市立図書館利用者アンケート（案）
 9. 電算導入の経緯
 10. 図書館法
 11. 公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正について
 12. 平成 22～24 年度貸出点数比較
9. 議 事 以下のとおり

事務局	平成 25 年度第 2 回図書館協議会を開催する。
会長	挨拶・ニュータウン開発と同時に入居し、本当に白井を愛している。白井市民のためにベストを尽くしたい。本会議は回数が限られているので効率に留意しながらも、内容濃く、かつ和気あいあいとやっていきましょう。
事務局	(1) ～ (2) まで資料に基づき報告。
会長	予算の執行率はどうか。
事務局	市は厳しい財政状況にあるが、図書館の予算はここ数年横ばいで、資料費は他の図書館と比較しても十分確保できている。市では図書館が市民生活に欠かせない生涯学習施設であると捉えており、多くの市民の利用が予算の確保に繋がっていると考える。また、予算の執行も順調に行っている。
事務局	(3) 図書館の課題について。事業仕分けでの指摘を受けて夜間のシルバー人材委託をやめて、職員・非常勤職員の時差出勤をしているため、開館準備が間に合わない。祝日開館や夜間開館をもっとという要望もあるが、開館すればするほど経費がかかる施設である。
会長	人手は足りているのか。
事務局	図書館は週 6 日開館し、そのうち週 5 日は 19 時まで開館している。図書館の仕事は、カウンターがメインだと思われがちだが、カウンターの仕事は全体の 3 割ほどで、選書や整理など見えにくい中での仕事が多く、人手が必要な業務と言われている。今年度は試行で、夜間勤務を職員と非常勤職員 4 人が、遅く出勤し夜 7 時まで残って対応しているが、開館準備の配架書架整理や全体の仕事が滞っている。来年度は非常勤職員を増やすなど対策が必要と考えている。
会長	人件費の削減といっても人手不足になっては本末転倒。開館準備が間に合わないことに対する苦情や意見はないか。
委員	夜間の対応はソフトになったと思うが書架の乱れは気になる。また、土曜日に利用者が多く、ソファで本を読んでいるにも関わらず、窓際であるが照明がついていなかったの、カウンターで声をかけたら、すぐ対応してもらって嬉しかった。
事務局	震災以降節電に努めているが、利用者が多い時は照明をつけている。
委員	フロアーを定期的に見回るのか？

事務局	人手が足りず、なかなか館内を見回ることができない。
委員	LED電球の導入は？
委員	人間を感知してつく電球もあるが。
事務局	LEDが使用できる機器に取り換えないと、LED電球は使用できない。また、施設全体の交換は取り換え費用の方が高つくため、今のところ照明を消すことで節電に努めている。
会長	利用の少ない曜日の夜間開館をやめるなどできないか？
委員	夜間開館を季節によって限定することなども検討できるのではないか？
事務局	夜間の利用状況を調査しているので、結果は報告していきたい。なお、開館時間や曜日の設定については、過去の協議で、変更が多い日程は利用者にわかりづらいのではないかと指摘があり、現在の開館時間となっている。
委員	朝時間、夜時間のアルバイトを導入することはできないか？
事務局	導入したこともあったが人数が安定しないため、現在の雇用形態になった。
委員	平日は高齢者しかも男性の利用が多い。
事務局	一日の生活の中で図書館を利用する時間帯が、だいたい決まっている利用者がいるようで、定期的に利用していただいている。
委員	館内見廻りボランティアの導入はどうか？
事務局	市川や浦安の図書館ボランティアは、配架書架整理などを中心に行っているが自ら会費を払い組織的に動いている。 白井でも自発的なボランティアに援助してもらいたいが、図書館側がきっかけをつくらないと動き出さないかもしれない。しかし、多くの非常勤職員とボランティアの兼ね合いも懸念している。
会長	ボランティア活動は「人の役に立つ」という意識にささえられている。
事務局	ボランティアを導入するならば、早朝の書架整理などわかりやすい区分けが必要かもしれない。

委員	市役所にボランティア登録している人は仕事の話がこないと言っている。
事務局	ボランティアセンターと相談してみる。
会長	市川・浦安図書館のボランティアの話はまさに市民協働の好例。白井でも立ち上がると良いと思う。
委員	図書館だけでなく、市役所全体で考えてもらいたい。生涯学習課で予算をもってもらうのはどうか？
委員	非常勤職員のカウンターと裏方の仕事は日にちで交替しているのか？
事務局	職員も非常勤職員も資料係と奉仕係に分けて業務を行っている。 資料係は司書資格のある非常勤職員を主にあてて、資料の入力や受入などを裏で行っている。しかし、基本的には来館する利用者が最優先であるため、カウンター対応を中心に考えており、奉仕係で足りない場合は資料係もカウンターに出るなど時間ごとにシフトを組んでいる。
委員	開館の準備など学生のボランティアを夏休みなどに導入してはどうか。
委員	学生にも社会勉強となってよいかもかもしれない。
事務局	学生のボランティアは平成15年度に夏休みボランティアとして導入していたが、「ボランティアとは」などの講義や仕事のやり方のレクチャーをして、仕事をしてもらい、活動終了後に学校長宛に御礼状を出すなど、事業として実施するためには図書館側にある程度の余裕がないと出来ない。職業体験も社会奉仕体験も図書館を知ってもらうことはできるが、受け入れる以上は職員が指導や説明にあたるため業務的には負担がかかる。
委員	しっかりとしたボランティア組織にするには、生涯学習課の市民大学校にお願いすればよいと思う。
事務局	蔵書点検結果、アンケート、電算システム更新についての説明
会長	事業仕分けで、市民の半分しか利用していないとの指摘があったが、それに対して、図書館はどのようにアピールするのか。個人的には半分利用していればよい方だと思っている。

事務局	ある読書調査によると、図書館を利用するが3割、自分で購入するが3割、本を読まないが3割、その他とのことであるので、白井市民は良く図書館を利用している。学校との連携の効果や図書館を中心に市内5か所の各センター図書室との連携による図書館サービス網の成果であると考え。しかし、利用していない市民への働きかけも重要であるため、色々な方法でアンケート調査を実施したいと考えている。
委員	中学生は両極端。家庭の読書環境によるのかもしれない。また、最近の子供は読みたければ購入する傾向にある。
委員	家庭でネット予約をしている人がいれば、子どもも利用するかもしれない。
委員	アナログ人間が多いかもしれない。中学生は帰宅も遅く1冊借りて家族で回し読みも多い。
事務局	「図書館を身近にもっと生活の中に」を目標に、ヘビーユーザーの中学生には友人を図書館に連れてきて欲しい。
委員	学校の図書室は利用しているようだ。
会長	ネットで新刊書のチェックをして、図書館で借りてみて気に入ったら購入もする。ネット予約は情報源でもある。
事務局	1人の予約件数を10件と制限しているが、全体の予約件数は大幅に増えている。予約件数を増やす要望は出ていないので、うまく使いこなしているようだ。図書の貸出期間と視聴覚の貸出期間が違うのでアンケートの項目に入れて意見を伺いたいと考えている。
委員	視聴覚と図書の貸出期間が同一だと返却しやすいので助かるのだが。
委員	アンケートの一文に図書館だけでなく「センター図書室」も入れてはどうか？センター図書室はカウンターでのコミュニケーションがよい。
事務局	市外利用者に冊数制限等があることについてどうか？
委員	鎌ヶ谷市でもしているのだから、差別化してもよいのではないか。
委員	桜台センターでは国際的なサークルを立ち上げたようだ。英語の本も送ってもらえるか。購入予定はあるか。小学校でも英語教育が始まったようだ。

委員	英語に翻訳された、マンガも面白い。
委員	中学校の図書室にもあり誰も手に取らないが、小学校で英語教育も始まったので、利用する人が出てくると思う。
委員	桜台センターでは幼児向けの英語資料が欲しいようだ。サークルには英語圏だけではなく多国籍の方が参加しているようだ。まずは英語をお願いしたい。
事務局	桜台センターと相談してみる。
委員	よみものおすすめセットとは？
事務局	朝読書用に1セット50冊を今年度は小学校全クラスへ1年～3年は2か月毎、4年～6年は学期毎に貸出している。セットは司書が選んだもの。学校に寄贈することは簡単だが、資料を入れ替えることで利用されるものがあるのではと考えている。図書館に戻った時には汚破損があるものを修理して入れ替えている。
事務局	去に潤沢な予算があったので、おすすめセットを作ることができた。
会長	大変良い取り組みだと思う。丁寧な仕事にもなっているので、事業仕分けなどでもその部分をもっとアピールするとよいと思う。図書館は登録率や貸出数だけではなく、いかに市民に寄り添えるかというところにもあると思う。
事務局	次回の図書館協議会は平成26年2月または3月を予定している。本日はありがとうございました。